

軽 微
令和05年09月28日

国土交通大臣 殿

館山市長

社会資本総合整備計画の変更について

令和04年11月07日 付け 館下第70号 で提出した、社会資本総合
整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和05年09月28日

計画の名称	館山処理区における下水道整備による良好な環境の創造（防災・安全）													
計画の期間	平成28年度 ～ 令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	館山市													
計画の目標	公共下水道施設の機能不全防止を図るため、ライフサイクルコスト最適化による改築更新を推進し、良好な環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		215	A	215	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H28当初)	(H30末)	(R2末)
1	①持続可能な下水道事業の実施を図るため、「長寿命化対策工事」及び「ストックマネジメント計画」を策定し、計画的かつ効率的な長寿命化対策を行う。			
	①「長寿命化対策工事」及び「ストックマネジメント計画」による終末処理場の改築達成率 改築が完了した施設数（箇所）／改築が必要な施設数（箇所）×100	57%	80%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	館山市	直接	-	終末処 理場	改築	A1-1-4 鏡ヶ浦クリーンセ ンター終末処理場改築（ 長寿命化）	水処理設備・電気設備改築	館山市	■	■				75		策定済
	A07-002	下水道	一般	館山市	直接	-	終末処 理場	－	A1-1-5 鏡ヶ浦クリーンセ ンター終末処理場長寿命 化計画	調査	館山市	■					10		未策定
	A07-003	下水道	一般	館山市	直接	-	－	－	A1-1-7 館山市公共下水道 ストックマネジメント計 画	計画策定	館山市		■	■			36		未策定
	A07-004	下水道	一般	館山市	直接	-	終末処 理場	改築	A1-1-8 鏡ヶ浦クリーンセ ンター終末処理場改築（ ストックマネジメント）	汚泥処理設備・電気設備改築	館山市				■	■	34		策定済
	A07-005	下水道	一般	館山市	直接	-	終末処 理場	改築	A1-1-9 鏡ヶ浦クリーンセ ンター終末処理場改築（ ストックマネジメント）	水処理設備・電気設備・機械 設備改築	館山市					■	60		策定済

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											小計						215		
											合計						215		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	R02
配分額 (a)	12	44	8	5	42
計画別流用増△減額 (b)	0	△2	0	0	0
交付額 (c=a+b)	12	42	8	5	42
前年度からの繰越額 (d)	0	5	0	0	0
支払済額 (e)	7	47	6	4	10
翌年度繰越額 (f)	5	0	0	0	31
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	31
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	2	1	1
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	25	20	76.19
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由			契約における落札差金による不用額	契約における落札差金による不用額	年度末に配分された補正予算の繰越のため

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R3	R4
配分額 (a)	0	0
計画別流用増△減額 (b)	0	0
交付額 (c=a+b)	0	0
前年度からの繰越額 (d)	31	24
支払済額 (e)	0	24
翌年度繰越額 (f)	24	0
うち未契約繰越額 (g)	0	0
不用額 (h=c+d-e-f)	7	0
未契約繰越率+不用率 (i=(g+h)/(c+d)) %	22.6	0
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	契約における落札差金による不用額	

事前評価チェックシート

計画の名称： 館山処理区における下水道整備による良好な環境の創造（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 1) 上位計画との整合性	○
I. 目標の妥当性 館山市基本計画H28～32と整合している。	
I. 目標の妥当性 2) 地域の課題への対応	○
I. 目標の妥当性 公共下水道施設の機能不全防止を図るため、ライフサイクルコスト最適化による改築更新を推進し、良好な環境を創造する。	
II. 計画の効果・効率性 1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 終末処理場施設の長寿命化改築達成率と整合がとれている。	
II. 計画の効果・効率性 2) 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 数値的な指標としており明瞭である。	
II. 計画の効果・効率性 3) 目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 目標の良好な環境については、長寿命化計画に基づく終末処理場改築事業としており、整合している。	
II. 計画の効果・効率性 施設の機能不全防止を図るためのライフサイクルコスト最適化については、ストックマネジメント計画に基づく終末処理場改築事業としており、整合している。	
II. 計画の効果・効率性 4) 事業効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
II. 計画の効果・効率性 事業の実施による終末処理場の改築は、目標を達成するとともに効果が見込まれる。	
III. 計画の実現可能性 1) 円滑な事業執行の環境	○
III. 計画の実現可能性 終末処理場の長寿命化計画を策定し、処理場機能維持がなされている。	

[illegible]

参考図面（防災・安全交付金）

